

予測入力の拡張

効率的な日本語入力方法

小松弘幸 (東京工業大学 情報理工学研究所 数理・計算科学専攻 博士課程)



本プロジェクトの目的は携帯電話などで広く活用され始めている予測入力システムの拡張です。予測入力システムは、少ない打鍵数で日本語の入力を可能にする効率的な入力方法です。

本プロジェクトでは、以下の2点を実現しました。

- よりよい予測入力方法の提案
- 予測入力システムのフリーソフトを作成

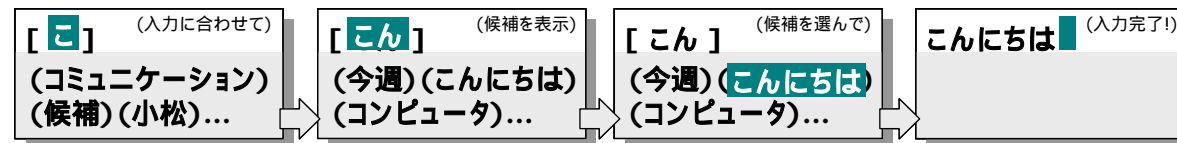
よりよい予測入力方法の提案

従来の予測入力にはなかった新しい予測方法をいくつか提案しています。たとえば、複数の文節にまたがった単語の予測や、手書き入力を考慮した予測方法などです。

予測入力システムのフリーソフトを作成

本プロジェクトの成果はPRIME (PRedictive Input Method Editor) というフリーソフトで公開されており、どなたでも自由に利用可能となっています。

予測入力のかしこい入力



予測入力をもっとかしこく！

単語の区切りも考えて予測

2単語の入力をまとめて予測



2単語をまとめて予測



手書き入力のための予測

「漢字」から「漢字」への予測



「漢字ひらがな交じり」からの予測



<http://taiyaki.org/prime/> で公開中！